

解体工事の粉塵抑制

粉塵抑制剤

近隣の味方チリトール

1

製品の特長

1) 効果

コンクリート構造物の圧砕工法等による解体作業時に発生する粉塵抑制に効果を発揮します。重機による解体工事（圧砕工法）現場で飛散粉塵濃度測定を実施し、抑制効果を確認しました。（④試験施工 参照）

2) 経済性

最低濃度が0.1%（1000倍希釈）で粉塵抑制効果を発揮します。

3) 施工性

既存の設備及び工法等を変更することなく作業が可能です。

2

製品の概要

本製品は、天然アルコールを原料として用いた界面活性剤です。

ほぼ同じ曇点を示す他の界面活性剤に比べて、流動点が低く、低温流動性が良好で、冷水への溶解速度も速いため、移送や配合などの作業が容易です。

1) 性状

| | |
|-----|----------------|
| 主成分 | 界面活性剤 |
| 外観 | 無色～淡黄色 液状 |
| P H | 6.8 （製品の1%希釈液） |
| 粘度 | 64mPa・s （30℃） |
| 比重 | 1.01 （25℃） |
| 流動点 | -17℃ |

※数値は代表値です。

2) 荷姿

18kg缶

3

使用方法

STEP 1 投入

●水タンク等に製品を0.1%（水1000ℓに対して1ℓ）投入します。

※0.1%未満の場合は効果を発揮しません。

STEP 2 攪拌

●投入後、十分に攪拌し1000倍希釈溶液を作製します。

※攪拌によりタンク等内に多量の泡が発生した場合は消泡剤を投入して下さい。

※当社推奨消泡剤 サンプロコ(株) SNデフォーマー-1230V（添加量：0.01%）

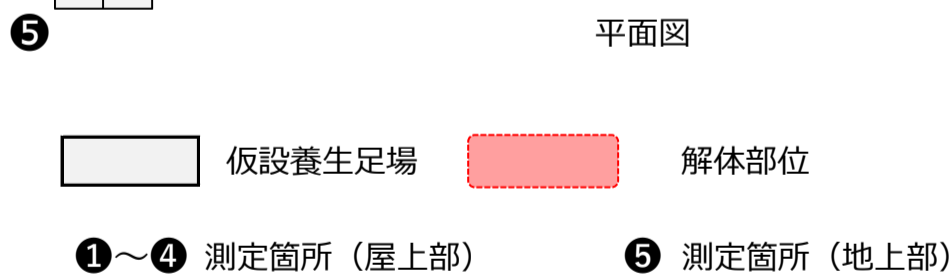
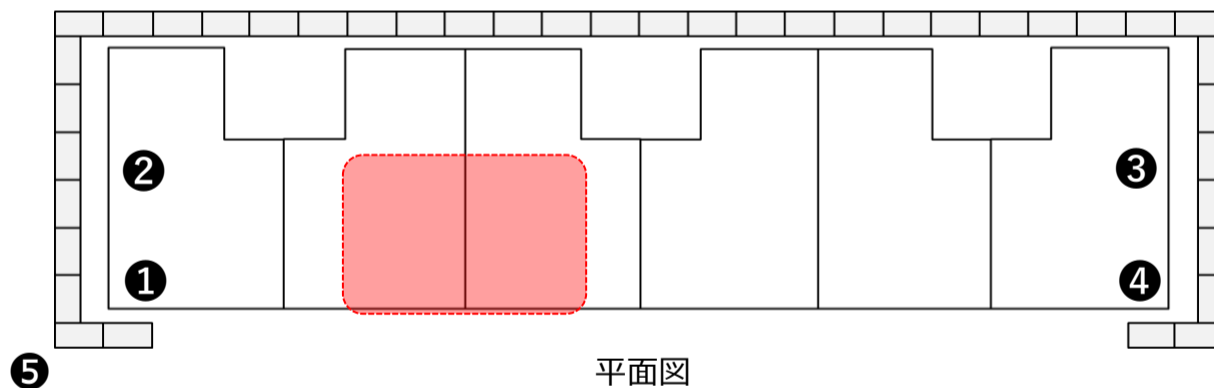
STEP 3 散布

●溶液を粉塵発生箇所等に散布して下さい。

4

試験施工

重機による解体工事（圧砕工法）現場で濃度0.1%溶液を散布しデジタル粉塵計による飛散粉塵濃度（5カ所）を測定しました。

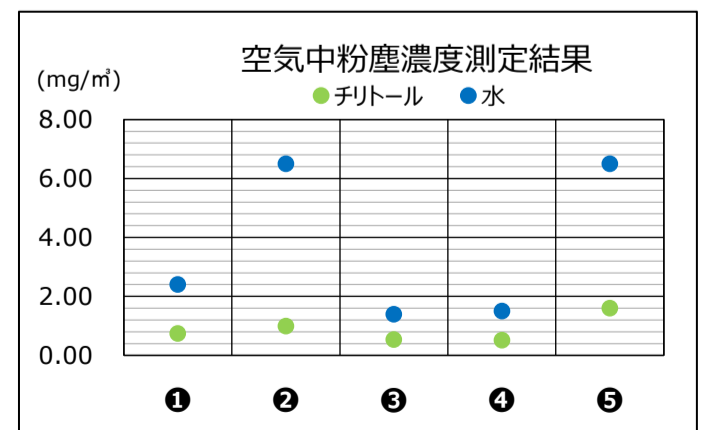


解体建物概要
RC造5階建
W31.8m B10.2m H14.0m

| 測定箇所 | 質量濃度 (mg/m ³) | | 差 | 低減率 (%) |
|------|---------------------------|------|------|---------|
| | 水 | チリトル | | |
| ① | 2.40 | 0.74 | 1.66 | 69.17 |
| ② | 6.50 | 0.99 | 5.51 | 84.77 |
| ③ | 1.40 | 0.54 | 0.86 | 61.43 |
| ④ | 1.50 | 0.52 | 0.98 | 65.33 |
| ⑤ | 6.50 | 1.60 | 4.90 | 75.38 |



立面図



警告



- ・ 飲み込むと有害
- ・ 強い眼刺激
- ・ 水生生物に有毒

＜取り扱い注意＞

- ・ 取り扱う前に、「安全データシート」をよくお読みのうえ作業してください。
- ・ 炎および高温のものから遠ざけてください。
- ・ 飲み込んだり、吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにし、取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスクなどの適切な保護具を着用して下さい。
- ・ 取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをして下さい。
- ・ 環境への放出は避けて下さい。
- ・ 火災時には、炭酸ガス、粉末または泡消火器で初期消火に当たり、火災が広がった場合は、泡消火剤または多量の噴霧水で消化して下さい。
- ・ 飲み込んだ場合は口をすすいで下さい。無理に吐かせないで下さい。
- ・ 吸入した場合は空気の新鮮な場所で、呼吸しやすい姿勢で休息させて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は多量の水と石鹼で洗ってください。
- ・ 眼に入った場合水で数分間注意深く洗ってください。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して下さい。その後も洗浄を続けて下さい。
- ・ 暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断／手当を受けて下さい。
- ・ 容器を密閉して換気の良い場所で保管して下さい。
- ・ 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理して下さい。

「近隣の味方チリトール」は(株)テクノエコの登録商標です (登録番号第6125679号)